

# 厚真町子ども読書活動推進計画

平成 23 年度 ~ 平成 27 年度



厚真町教育委員会

# 目 次

はじめに	2
第 1 章 厚真町子ども読書活動推進計画の基本的考え方	3
1 . 計画の意義	3
2 . 計画の目的	3
3 . 計画の期間と対象	3
第 2 章 計画推進のための方策	4
1 . 家庭・地域における子ども読書活動の推進	4
( 1 ) 家庭	4
( 2 ) 地域	4
( 3 ) 母子保健事業、子育て支援	5
( 4 ) ボランティア団体	5
2 . 保育園・学校における子ども読書活動の推進	6
( 1 ) 保育園	6
( 2 ) 学 校	7
3 . 教育委員会の役割	8
	* 用語の説明
第 3 章 推進体制の整備と広報・啓発活動	9
1 . 計画推進体制の整備	9
2 . 広報・啓発活動の展開	9
( 1 ) 本計画の広報活動	9
( 2 ) 「子ども読書の日」の啓発活動	9
資料 1 : 厚真町子ども読書活動推進計画のネットワーク図	10
資料 2 : 厚真町教育委員会の主な子ども読書推進活動	11

はじめに

## 子どもの読書活動推進のために

厚真町教育委員会教育長 兵 頭 利 彦

読書は、人間にとって最も基礎的な活動の一つであり、生涯にわたる学習活動の基礎となるものです。

特に、子どもの読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものであります。

しかし、今日、テレビ、ビデオ、インターネットなどの様々な情報メディアの発達・普及などによる子どもの生活環境の変化、さらには乳幼児期からの読書週間の未形成などにより、全国的に子どもの「読書離れ」が指摘されています。

乳幼児期の読み聞かせは心の発達に大きな影響を与え、その後の子どもの心の健全な成長を促し、子ども達は本との出会いの中で楽しみながら自然に他人を思いやる心や人生の知恵を学ぶことができます。

本との出会いで、読書の楽しさ、読書習慣が身につくことで、創造力や表現力が高まり、健やかに成長するものと思われれます。

本町におきましても、公民館図書室の整備をはじめ、「図書フェスティバル」等の社会教育事業で読み聞かせや古本の無料提供など、楽しさや感動を与える図書活動を行ってきています。

このたび、町民総ぐるみで読書活動を推進すべく、この計画を策定いたしました。

今後とも、読書活動の充実に向けて様々な取組みを行ってまいりたいと考えておりますので、日常的に、ご意見やご要望をいただきますようお願いいたします。

# 第1章 厚真町子ども読書活動推進計画の基本的考え方

## 1. 計画の意義

子どもたちは読書活動を通して、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていきます。

それは本の中の登場人物に自分を置き換えて考え、想像しながら読み進めることにより、人間の愛や勇気、人生の喜びや悲しみを主人公と共に体験することが出来るからです。

読書活動の持つ計り知れない価値を認識し、子ども時代の読書を応援するため学校、家庭、地域、関係団体などが読書環境を大切にしたいと願い、読書のすばらしさをゆっくりと着実に子どもたちの生活に浸透定着させるよう連携して取り組むことが望まれます。

『書物のない家庭は、窓のない家のようなものです。なぜなら、本というものは、それを通して、子どもが知識と経験のより広い世界をのぞき見ることのできる最も重要な手段だからです。』

・ ・ 児童図書館員 アイリーン・コルウェル氏の言葉 ・ ・

## 2. 計画の目的

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(以下「法」という。)が、平成13年12月12日施行されました。

法第2条には、「子どもの読書活動は、すべての子どもあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことが出来るよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」と基本理念を明確にしています。

法第9条では、「国及び都道府県、市町村はそれぞれ、読書活動推進計画の策定に努め、公表しなければならない」、また「読書環境の整備は地方公共団体の責務である」と定めています。

厚真町では、この法律の理念に則り、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成するために、すべての子どもがあらゆる場において自主的に読書活動を行うことができる環境を整備することを目的とします。

## 3. 計画の期間と対象

この計画は、平成23年度からおおむね5年間を実施期間とし、必要に応じて見直しをします。また、子どもたちはもとより、保護者をはじめ、子どもを取り巻くすべての人を対象とします。

## 第2章 計画推進のための方策

### 1. 家庭・地域における子ども読書活動の推進

#### (1) 家庭

##### 【現状と課題】

これまで、子どもたちが初めて本に接し、読書に親しむことができる場所は家庭でした。しかし、多様な価値観、生活スタイルの変容、テレビやインターネットなど様々な情報源の登場により、大人も子どもも家庭で読書する機会が少なくなっています。

##### 【方策】

読書の習慣を作りましょう

読書の時間を定期的に設けたり、子どもが興味をもつ本をそろえたりして、読書の習慣をつけることが大切です。

読書について語りましょう

大人が子どもと一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりして、子どもたちに読書の興味関心を持たせましょう。また、家族が読書の感想を語ることも子どもたちが読書に興味を持つことにつながります。家族の話題の一つに読書が位置づくると、子どもたちは自然に読書に親しみます。

家族で読書に関わる行事に参加しましょう

青少年センターや図書室で開催される読書に関する行事や子育て支援の講座などに家族で参加しましょう。そして、家族と一緒に読書を楽しみましょう。

#### (2) 地域

##### 【現状と課題】

町内各地区での自治会活動等においては、読書に関する行事は少なく、本棚が設置されている地区も少なく、子どもたちが住み、いつも遊んでいる地域で、身近に本とふれあえる環境に無いのが現状です。子どもたちが暮らす地域において、『すぐ本に手が届く』環境を作り上げる必要があります。

##### 【方策】

子ども会育成会や学童保育との連携強化

各地区の子ども会育成会行事や学童保育内の活動において、青少年センターでの映画会、図書室を活用した行事を取り組み、地域の保護者とともに本とふれあう機会をつくっていきます。

遠隔地への貸出返却拠点の確保

図書室から遠い地区の生活会館やマナビィハウスを拠点にし、移動図書車を巡回し、貸出返却の利便性の向上を図れるように検討しながら読書の推進を図ります。

### ( 3 ) 母子保健事業・子育て支援

#### 【現状と課題】

子どもは本来「おはなし」や「絵本」が大好きです。そうでない子がいるとすれば、その子はまだ好きになる方法を知らないだけだといえます。

赤ちゃんとは絵本との出会いは、ただ本を読み聞かせるということではなく、赤ちゃん自らに注がれる愛情を感じる機会をつくり、親子のコミュニケーション時間を共有するということから大変大切なものです。

核家族化が進み、大人の読書離れも著しい中で、読書の効用をより深く理解させ、特に保護者は、乳幼児の読書習慣は日常の家庭生活において形成されるものであることを認識し、「読み聞かせ」や「おはなし」、「読書」が生活の中で継続して行われるよう配慮していく必要があります。

#### 【方策】

子どもの年齢にあった絵本を積極的に紹介していきます

妊婦検診や育児相談、乳幼児健診時などの母子保健事業の場において、年齢にあった絵本を紹介できるガイドブックやパンフレット等を配布し、図書室と連携しガイドブックで紹介されている絵本の貸出を進めます。

読書に関する学習機会や集いを支援

子育て支援センター等、乳幼児の保護者が集まる場において、魅力ある読み聞かせ方法や、年齢にあった図書の選書方法、優良図書の紹介などを行い、読み聞かせの効用、読書や本に対する学習機会の提供に努め、読書活動に対して正しい知識をもった大人を増やします。

ブックスタート事業<sup>(注1)</sup>の充実

現在、乳児検診時に行われているブックスタート事業の充実を図り、待ち時間に絵本の読み聞かせをしたり、本を介した親子のふれあいを推進します。

### ( 4 ) ボランティア団体<sup>(注2)</sup>

#### 【現状と課題】

厚真町では、読み聞かせの会「おはなしのびっこ」等が活躍されています。図書室において毎月1回第4木曜日に「読み聞かせ」をはじめとして、町内の保育園、小学校では朝の読書タイムで活躍されたりしています。ブックスタート事業にも協力をもらっています。

図書活動の充実を図るためにも、ボランティアと保育園・学校との関わりをつける必要があります。

#### 【方策】

読書活動ボランティアを支援します

読み聞かせなど、町内の読書活動に関わるボランティア団体・個人が継続・発展して活動していけるよう啓発活動を進めます。

教育関係団体と連携します

子どもたちに関わる社会教育や学校教育関係団体と連携し、それぞれの活動に読書を位置づけるよう働きかけます。

技術面の指導

ボランティア団体の活動の中で、子どもたちに、本を大切に扱うことができるよう、本の持ち方・めくり方、並ばせ方等の指導をしてもらえるよう働きかけます。

## 2. 保育園・学校における子ども読書活動の推進

### (1) 保育園

#### 【現状と課題】

保育園での読み聞かせは、絵本や童話などに親しむ基盤を築く上で、大変重要な活動です。映像や音声を送り手により作られたテレビやビデオでは自分でイメージを膨らませにくいですが、読書活動は子どもたちの情操をはぐくんだり、子どもたちが心情や背景を読み取ったりするため大変重要な活動です。今は、通園している2・3年の間の読書習慣が抜けています。子どもたち一人ひとりの願いに応じて読み聞かせをしていくのは大変なことですが、各年齢に応じて、絵本や童話に親しむように取り組んでいかななくてはなりません。子どもたちの読書に対する反応は年齢、月齢によって読書に対する興味関心の度合いも大きく違いますが、子どもたちは図書をおもちゃの一つとして眺めて楽しんだり、本の内容に共感して何度も何度も同じ本を繰り返し読み、イメージをふくらませて読書を楽しんだりしています。

優良な絵本や紙芝居を各保育園への貸出図書として配架し、保護者と子どもたちが各園で読みたい本、読んでもらいたい本を選び、貸出返却が行えるよう整備します。

#### 【方策】

生活、遊びなど保育園の活動の中で、積極的に読書を位置づけします

絵本コーナーを設け、ゆったりと絵本などに親しめる環境設定を心がけ、子どもたちに本との出会いを進めていきます。また、読み聞かせや読書をきっかけにして生活や遊びの活動につなげていきます。

保護者に対して働きかけます

園だよりなどで、子どもたちが興味を持っている本、園活動で利用している本などを紹介し保護者啓発を進めます。また、保育参観や保護者会などで読書に関するセミナーや親子読書を開催していきます。

## (2) 学 校

### 【現状と課題】

現在の児童・生徒を取り巻く環境は、テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話などの普及により情報源が氾濫し、興味や関心が多様化するとともに、その情報量の多さから、常に正しい情報を選択する能力を身に付けることが必要となっています。

また、学習塾や習い事、クラブ活動などにより、多忙な日々を過ごしている子どもが多く、興味関心の多様化とともに、家庭においてゆとりを持って読書をする時間が減少していることが大きな課題です。

読書時間の減少により、読書離れが進み、その結果、活字離れや文字識字能力の低下、読解力の低下、表現力の低下など、人生をより豊かに生きるための能力の低下が指摘されています。

### 【方策】

#### 学校図書室の環境整備

小中学校図書室の蔵書をデータベース化することで、学校図書室の蔵書状況が把握できるとともに、児童生徒がコンピューターで読みたい本を検索したり、利用統計などの基礎資料も簡単に取ることができます。図書データを一元化することにより、図書資源の共有化、有効活用を図れるシステムサービスを展開していきます。

子どもたちが読書を楽しみ、読書に親しむことを習慣化するために、子どもたちにとって図書室が居心地のいい場所になるよう環境を整備します。また、話題となっている本や作家のコーナーを設置したり、配架やレイアウトを工夫したりして、図書室に入りやすい雰囲気を作っていきます。

#### 図書委員会活動の充実

図書委員会や図書クラブ等の児童生徒自らの活動において、学校図書を活用した企画、イベントや多読表彰など設け、学校図書室の活性化を図ります。子どもたちの興味関心、授業や特別活動等での必要性を配慮し、図書資料の充実を計画的に進めます。

#### 計画的、系統的で組織的な読書指導

年間計画に基づいて、朝の読書や読み聞かせを実施したり、読書習慣を設けたりして、子供たちが本に接する機会を増やすとともに、教職員が読書に対する思いを子どもたちに投げかけたり、子どもたちが興味を持ちそうな本を探したりしながら、子どもたちの心を揺さぶるよう組織的に取り組みます。また、子どもたちが落ち着いて読書ができるために、人の話をじっくり聴くことも併せて指導していきます。

#### 学校での『朝の読書』の徹底

各クラスでの朝の読書タイムにおいて、「みんなでやる」・「毎日やる」・「好きな本で良い」・「ただ読むだけ」の4原則を守り、みんなで行うことへの教員のかかわりと、毎日やることへの取り組みを徹底します。



### 3. 教育委員会の役割

#### 【現状と課題】

平成23年度は図書整備一般事業として4,305千円計上し、公民館図書室業務に要する経費としています。

平成15年度から図書室の開館時間を夜間延長にした取り組みもおこなっています。平成20年4月から、臨時職員を配置し、さらなる図書室業務の充実を図っています。図書の管理については、道立図書館に協力依頼し、配架、除籍についてのアドバイスを受けています。図書室での読み聞かせ活動については、ボランティア団体「おはなしのびっこ」による「読み聞かせ」を開催しています。この活動についても、その時間に来館できる興味のある方だけの参加ではなく、読み聞かせの効用を伝えながら、その対象をより拡大し、図書室以外の場所においても事業展開していく必要があります。

#### 【方策】

##### 読み聞かせ活動の拡充

子どもの読書活動の重要性を伝えながら、図書室内だけではなく、各地区へ図書室での活動を広めながら読み聞かせの活動を展開していきます。また、ボランティア団体が図書室に関わってもらえる体制を整え、自信を持って取り組んでもらえるために研修の機会を提供します。

##### 児童図書コーナーの充実

児童図書の充実を図るとともに、図書を探しやすい配列を工夫し、多様な資料や情報を提供できるよう児童コーナーの充実を推進します。

##### 環境整備の充実

古い図書を順に廃棄し、新しい図書を補充できる予算を確保していきます。学校図書のデータベース化を機に、年齢にあった図書の選書と推薦図書リスト等を配布します。

##### 生涯学習一般事業の実施

親子が本を介してコミュニケーションをはかる場として、また子どもが積極的に読書活動を行う意欲が高まるようなイベントの実施に努めるとともに、その普及や広報活動を行います。

##### 読書推進アドバイザー養成研修

子どもの読書活動推進に関する講義及び実演の研修参加で、知識や技術を持つ人材を養成し、スキルアップした効果的な読み聞かせの実施、読み聞かせボランティア団体の活性化につなげます。

#### 【用語の説明】

##### 注1：ブックスタート

乳児検診（主に6ヶ月）時に、赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などが入ったブックスタート・パック（パック、絵本2冊、絵本リスト、図書室利用案内、案内チラシ等）を手渡し、絵本を介して心触れ合うひとときをもつきっかけをつくる活動。

##### 注2：ボランティア団体

厚真町の読書活動（読み聞かせ）のボランティア団体として「おはなしのびっこ」、「わたぼうし」、学校支援ボランティア「おはなしタマゴ」がおもに活躍されています。

# 第3章 推進体制の整備と広報・啓発活動

## 1. 計画推進体制の整備

子どもの読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校、行政機関が密接に連携協力し、計画推進に取り組んでいく必要がありますとともに、本計画を効果的に推進し、計画の進捗や成果を評価し、より実状にあった計画になるよう見直しを行う必要があります。地域の子どもに対する図書サービスが提供できるよう、移動図書車と公民館図書室のあり方を検討していきます。

## 2. 広報・啓発活動の展開

子どもの読書活動を推進定着させていくためには、地域住民に読書活動の意義を周知浸透させていく必要があります。そのためにはあらゆる機会を通じ、さまざまな形態で多くの人が活動を知る機会を増やすことが必要です。

### (1) 本計画の広報活動

本計画を周知するため、生涯学習だより、町広報誌、町ホームページを活用し周知を図るとともに、リーフレットを作成し、学校、保育園、子育て支援事業、ブックスタート事業を通じ、子どもやその保護者に配布します。

### (2) 「子ども読書の日」の啓発活動

4月23日の「子ども読書の日」は、1時間でもテレビを消して親子が本を介してコミュニケーションをはかる時間を共有できるよう呼びかけます。子どもが積極的に読書活動を行う意欲が高まるような普及や広報活動を行います。

厚真町教育委員会では「子ども読書の日」に合わせ、4月23日から5月31日までの期間を「子ども読書推進月間」とします。

「子ども読書の日」・・・4月23日

平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され定められた。

さらに、平成20年3月には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」においても、家庭、地域、学校を通じた社会全体で子どもの自主的な読書活動に取り組むこととされた。

#### (子ども読書の日)

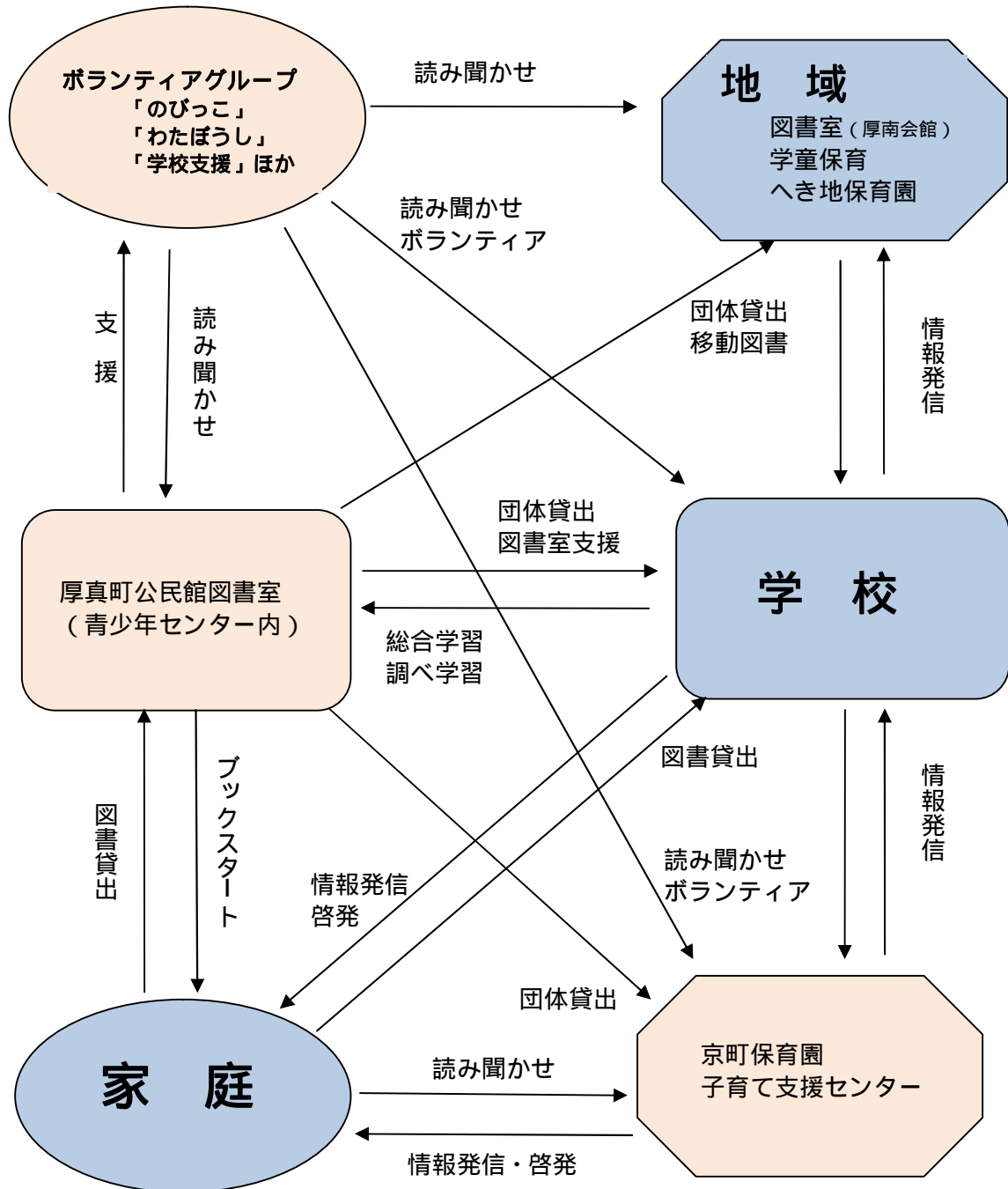
第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

資料1 厚真町子ども読書活動推進計画のネットワーク図

\*\*\* 町民の連携 \*\*\*



## 資料2 厚真町教育委員会の主な子ども読書推進活動

### 図書フェスティバル

時 期：町文化祭（11月3日）にあわせて実施

場 所：青少年センター

対象者：小中学生および一般町民

目 的：子どもが図書にふれあい、読書意欲を喚起するきっかけづくりを目的とし、作品展示や縁日コーナーを設置し、楽しく親子で遊ぶ場を提供する。

内 容：絵本の展示・読み聞かせ、昔の懐かしい遊びや仕掛け絵本・大型絵本の展示、昔の駄菓子屋・型抜き遊び、映画上映等。

### 読書感想文コンクール

時 期：2月下旬

場 所：厚真町総合福祉センター

対象者：町内各小学校児童

目 的：長期休業期間中に児童への読書の普及を図るとともに、多くの本にふれることによって、情操豊かな児童を育てることを目的とする。

内 容：各小学校から提出された感想文を審査し、学年ごとに最優秀賞、優秀賞、優良賞を選出する。また、最優秀賞の中から大賞を1点選出する。選出された児童の表彰を行う。

### 図書カード

図書カードを持っていることで、図書室備付のシステムを利用し、本の貸出を自分で簡単にすることができる。

### 読書ノート

読んだ本のことを自分で記録するノートで、子ども達に配布し、本をたくさん読んでもらうことを目的とする。（平成23年度試行）

### 移動図書車

児童書・一般図書の約600冊を収納している車で、各小学校やへき地保育園を定期的に巡回し、図書の貸出をしている。この移動図書車は平成6年にライオンズクラブより寄贈されたものである。






## 厚真町子ども読書活動推進計画

発行日 平成 23 年 10 月 1 日

編 集 厚真町教育委員会

発 行 厚真町教育委員会

 0 1 4 5 - 2 7 - 2 4 9 5